



## 3歳児健康診査の視力検査に 屈折検査機器を導入しました！

子どもの視力は、生まれてすぐは目の前のものが動くのが分かる程度です。その後3歳までに視力は急速に発達していき、6歳から8歳頃ほぼ完成するといわれています。ところが、強い遠視や乱視、斜視などがあると視力の発達が止まってしまい弱視になることがあります。弱視の子どもは50人に1人ともいわれています。子どもは見えにくくても、自分から「見えにくい」とは言えません。また、片目ずつしっかり検査をしないと片目の見えにくさはわかりません。子どもが検査を嫌がる場合もあり、機嫌が悪いせいなのか、見えにくいから嫌がっているのか判断することは難しいのが現状です。

そこで、保健センターでは3歳児健康診査の際に、斜視や屈折異常（遠視、乱視、近視、不同視）を短時間でスクリーニングすることができる機器を導入しました。検査方法は、お子さんに椅子に座ってもらい、約1m離れた機器を見てもらうだけで、一人につき数10秒程度で終了となります。弱視は早期発見と早期治療が非常に大切です。

対象者には個別に3歳児健康診査の案内を送付しますので、忘れずに受診しましょう。



問 保健センター TEL.0296-77-9145



### かさま健活スタイル



7月の強化項目

代謝アップ！  
『ラジオ体操』



月ごとの強化項目を取り入れて  
自分のところとからだにちょっといい健康づくり

1日1回のラジオ体操で、日常生活では動かすことのない  
全身筋肉と関節を動かして代謝を上げましょう。

問 健康医療政策課 TEL.0296-77-9145